

2015年度から2024年度に鳥取大学で助産学実習を履修された方へ

「助産実習における分娩介助実習の習熟度と経験回数との関連」について

はじめに

鳥取大学医学部保健学科 母性・小児家族看護学講座では、2015年度から2024年度に助産学実習を履修された方を対象に、分娩介助評価表から得られる情報から、分娩介助の経験とその習熟度に関する研究を実施しています。

この研究は鳥取大学医学部倫理審査委員会の承認を経て、医学部長の承認を受けています。詳細は以下のとおりです。

1. 研究概要および利用目的・方法

本研究では、2015年度～2024年度の期間に、鳥取大学医学部保健学科において助産学コースを選択し、助産学実習を履修された方の直接分娩介助評価表から、情報を集めさせていただき、「助産実習における分娩介助実習の習熟度と経験回数との関連」を調査します。

すべての情報は、鳥取大学医学部保健学科 母性・小児家族看護学講座で集計されます。なお、情報は研究責任者が責任を持って保管、管理します。

本研究の対象となる方は、他の研究対象者への個人情報保護や本研究の独創性の確保に支障がない範囲で、研究計画書及び研究の方法についての資料を入手又は閲覧することができます。希望される方は、遠慮なく問合せ窓口にお申し出ください。

2. 取り扱う情報／分娩介助評価表

研究対象者の方の直接分娩介助評価表から以下の項目を集めさせていただきます。

【評価表の情報】

1) 入院時から分娩第1期まで

問診、触診、聴診、外診、内診、導尿、直介の準備、清潔野の準備、使用機器の準備

2) 分娩第2期

人工破膜、肛門保護、会陰保護、児頭娩出

3) 分娩第3期

出生直後の新生児看護、胎盤娩出

4) 分娩第4期

軟産道の検査、一般状態の観察、帰室までの看護

3. 研究期間

この研究は、鳥取大学医学部長が研究の実施を許可した日から2027年3月31日まで行う予定です。

4. 個人情報保護の方法

研究対象者の方の個人情報は、研究責任者が責任をもって保管、管理します。また、氏名などの直ちに個人を識別できる個人情報は匿名化*され、本研究では匿名化された情報を使用します。このようにして研究対象者の方の個人情報の管理については十分に注意を払います。

*匿名化について：本研究にご提供いただく情報については、研究対象者の方の氏名を直ちに特定できる情報をすべて削除し、代わりにこの研究用の登録番号をつけます。なお、研究の過程で情報がどの研究対象者の方のものかを知る必要がある場合も想定されます。その場合に備えて、情報と研究対象者の方個人を結びつけることのできる対応表を作成させていただきますが、この対応表は研究責任者によって鍵のかかる保管庫で厳重に管理されます。

5. 研究への情報提供による利益・不利益

利益・・・今回の研究に情報をご提供いただいた研究対象者の方個人には、特に利益と考えられるようなことはございませんが、研究の成果は将来の助産学教育に有益となる可能性があります。なお、情報を使用させていただいた研究対象者の方への謝礼等もありません。

不利益・・・既に提出している分娩評価表からの情報収集のみであるため、特にありません。

6. この研究終了後の情報の取り扱いについて

今回、集めさせていただく研究対象者の方の情報が助産学教育の発展に新たな重要な情報をもたらす可能性があります。このため、研究対象者の方の情報は、この研究終了後も保存させていただき、他の研究に使用させていただくことがあります。その場合は、新たに研究計画をたてて研究に参加する大学の倫理審査委員会での審査を経て、他の研究に使用させていただきます。

情報は、当該研究の終了について報告された日から5年を経過した日又は当該研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過した日のいずれか遅い日までの期間保存します。保存期間終了後は、研究対象者の方個人を特定できない状態にして適切に廃棄します。

7. 研究への情報使用の取り止めについて

研究対象者の方個人の情報を研究に用いられたくない場合には、いつでも取り止めることができます。取り止めを希望された場合でも、担当教職員と気まずくなることはありませんし、何ら不利益を受けることはありませんので、下記【問い合わせ窓口】までお申し出ください。

取り止めの希望を受けた場合、研究対象者の方の情報を使用することはできません。この場合には、個人を特定できない状態にして、速やかに廃棄させていただきます。

しかし、取り止めを希望した時点で、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合もあります。

8. 当該臨床研究に係る資金源について

本研究は、令和7年度科学研究費（基盤C）の助成を得て実施します（助成番号25K14062）。特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

9. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがあります。その場合も、研究対象者の方の個人が特定される情報は全て削除して公表します。情報の秘密は厳重に守られますので、第三者に研究対象者の方の個人情報が明らかになることはありません。

10. 知的財産権の帰属について

本研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は鳥取大学に帰属し、あなたには帰属しません。

11. 問い合わせ窓口

本研究についてのご質問だけでなく、研究対象者の方の情報が研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、研究対象者の方の情報の使用を望まれない場合など、この研究に関するることは、下記の窓口までお問い合わせ下さい。

【研究責任者】

鈴木 康江 鳥取大学医学部保健学科 母性・小児家族看護学講座 教授

〒683-8503 鳥取県米子市西町86

TEL：0859-38-6326/FAX：0859-38-6326

*この研究に関する情報は、鳥取大学医学部のホームページに掲示しております。

（<https://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/departments/center/amirt/2115/3186/3294/>）